

## 神戸市重度障害児者医療福祉コーディネート事業について

### 1 趣旨

神戸市では、市内の重症心身障害児者（30年3月末現在1,234人内在宅907人）、特に医療的ケアを必要とする重症児者が、安全・安心に地域で過ごせるよう、医療機関、障害福祉サービス事業者その他の関係機関をコーディネートする「神戸市重度障害児者医療福祉コーディネート事業」を実施。

### 2 取り組み内容

(1) にこにこハウス医療福祉センターを運営する（福）芳友に下記業務を委託

（平成28年10月～）

- ① 要医療的ケア重症児者に対する保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を行う機関との連絡調整
- ② 重症障害児者処遇に関する研修（30年10月避難シミュレーション研修実施）
- ③ その他の要医療的ケア重症児者に関する一般相談
- ④ 情報登録書の受付開始、登録情報の整理（31年1月現在250名内在宅176名、600名を予定）

(2) 重度障害児者入院受入れ可能病院の開拓

① 一次調査（平成28年10月）

「重度障害児者の急性期および慢性期の入院受入れについて」

（対象）民間病院協会加盟病院及び二次救急病院協会加盟病院 88病院

② 二次調査（平成29年6月）

「実際の受け入れを円滑に進めていくための詳細について」

（対象）一次調査において、受入可能、と回答のあった病院 37病院

③ 個別ヒアリング（平成29年9月～）

二次調査送付病院及び、情報登録書を確認いただいた医療機関

④ 災害時受入機関等マップ作成（平成30年8月）

(3) 情報登録の積極的な勧奨

① 医療機関・特別支援学校にて情報登録案内文掲示、希望者への書類配布

② あらゆる機会をとらえ、活用事例、災害時の利用等、登録効果について説明

※活用事例：旅行先(北海道・広島)で緊急受診、にこにこハウスに保護者から情報の提供について依頼あり、受診医療機関に情報登録書をFAXで送付。

③ 未登録者に対する書類の再送付（31年2月）

(4) 個別災害時支援計画の策定（31年度～）

情報登録書をもとに、災害時に、在宅の重度障害児者が円滑に避難できるよう、個別災害時避難計画を作成（31年度150人予定）